

(仮称)桜本学会改め川崎在日コリアン生活・文化・歴史研究会のこの一年

月	日	内容	詳細
1		web 資料館	(仮称)桜本学会準備会ブログの開始。
	19	第 3 回準備会	web 資料館の充実に向けた検討。
2	16	第 4 回準備会	web 資料館の年表の検討など。
3	23	第 5 回準備会	樋口雄一氏論文「川崎市おおひん地区朝鮮人の生活状況－1955 年前後を中心として－」から読み取れる内容を検討。
4	20	例会に向けた打ち合わせ	のちの「作業部会」にあたるもの。参加者が研究会を通して何を研究し、あるいは発信したいかを話し合う。今後の大まかな予定を定めた。
5	11	第 6 回準備会	夏のワークショップの内容を話し合う。新聞記事の切り抜きの電子データ化を行うことが決定。会の名称を 6 月から「川崎在日コリアン生活・文化・歴史研究会」と改めることが決定。活動方針と会則が定められた。
6	15	第 1 回作業部会	夏のワークショップの進行、会員の役割分担を決定。池上町での町民を対象としたワークショップ、聞き書き等の予定の周知。
7	12	作業部会活動	1950 年代の池上町立ち退き問題において陳情の中心人物となった人物について、ご長女から聞き書きを行う。
	20	第 2 回作業部会	ワークショップの作業内容について具体的な方法を話し合う。
8	9	ワークショップ 1 日目	およそ 20 名の学生および教員を含む社会人が参加。まち歩きの後、新聞切り抜き記事の入力作業。2 日かかる見通しが、参加者の熱意により 1 日で終了。
	10	ワークショップ 2 日目	過去に行われた聞き書き記録を検索しやすいデータベースに落とすための入力作業。昼食をハルモニたちとともにし、一人一人の物語があることを実感してもらう。
	24	作業部会活動	池上町住民ワークショップ。住民が生活するうえで感じる不便さ、改善したい点などを話し合う。
	31	第 1 回例会	夏のワークショップの大まかな結果を報告。池上町ワークショップの報告。
9	20	作業部会活動	池上町・金岡商店のハルモニからの聞き書き。
10	12		作業部会が台風で飛んでいく。
11	23	第 3 回作業部会	夏のワークショップで作成された新聞記事データベースから得られた知見を各自報告し議論。
	30	作業部会活動	入江崎部落まち歩き、聞き書き。入江崎部落の形成過程を、1950 年代の地図・航空写真を参照しながらのまち歩き、地域住民からの聞き取りによって学習。日立造船の社宅が朝鮮部落の一部をなしていることが発見される。
12			